

い。但し本文の中に使つてある學用語やフッセルの諸著を一切邦譯してあるのは、入門書の特性から當然の事だとしても、これ等の語や書名が初出する場合にドイツ語を併記していたゞきたかつたと思ふ。本書以上に進まんとする讀者にとつて適切なやり方だと思はれるのである。

又本書には附録として「精密論理學瞥見」を添へてある。我が國に刊行されてゐる論理學は凡べてアリストテレス以來の思考範圍を一步も出てゐないが、もはや近代の論理學として不十分なものであることは言ふまでもない。本著者の目ざす所は詳細に述べられてない、只瞥見であるが、この方面の著述の殆ど無い我が學界には、一の刺戟を與へるものであらう。(高橋)

(理想社出版部、定價壹圓七拾錢)

景 報

京都哲學會公開講演會

本會に於て例年の通り去る十一月二十八日土曜午後一時半より公開講演會を本學文學部第四教室に於て開催した。天候が悪くて、小雨が降りつゞいてゐたけれども、熱心な聴衆は約四百來會され、盛會の中に午後五時閉會した。

講師と講演とは豫告の通り、次のやうであつた。

ライプチヒの心理學 本學助教教授 岩井勝二郎君
ヘーゲルの絕對觀念論 本學教授 田邊 元君
引續き本學教官食堂に於て講師を中心として晚餐會を開く。遠くは臺灣より、全国各地から來會された本會々員が四十一名參加され、これ亦盛會であつた。

教育研究會

昨年十二月一日火曜大阪府豊能郡箕面村にある箕面學園及び「家なき幼稚園」を參觀す。共に橋詰せみ郎氏の經營にかゝり、自由主義による新しい教育を施さんとするもので、京阪地方に於ける此の種の教育施設として注目すべきものの一である。

十二月十一日金曜夜學生集會所に於て左の講演あり。

教授作用に於ける心理的基礎と論理的基礎

臺北帝大教授 伊藤 猷典氏

氏は教授法研究史上に於ける過去の諸大家の説を逐次検討した後、教授の内容たる文化財は論理的に排列されるべく、生徒をして受容せしめる教授の様式は心理的基礎に依るべきものであると氏自らの説を以て結論を與へられた。

教育學讀書會

十二月八日火曜午後一時より教育學研究室に於て、

Die Mitteilichkeit

大西 貞一君

印哲佛教學會

十二月二日水曜夜樂友會館にて、
波羅提木叉について

甲斐 實行君

美學讀書會

十二月一日火曜午後一時樂友會館に於て、
Cézanne, par Tristan L. Klingsor.

安原 喜行君

十二月十九日土曜午後一時樂友會館に於て、
Virginia Woolf の世界

平田陽一郎君

美學會例會

十二月七日月曜午後三時樂友會館にて、
ハンス・メルスマンの音樂美學

長廣 敏雄君

右講演が終つてから福井講師の歡迎晚餐會を行ふ。

倫理學讀書會

十二月四日金曜午後三時倫理學研究室に於て、
石田松巖の道話について

伊豫本 一君

倫理學研究會

十二月十一日金曜午後六時半樂友會館に於て、
精神現象の分類と實踐の領域について

龍野健次郎君

新刊紹介

寄贈雜誌

哲學雜誌 昭和六年十二月(ヘーゲル百年忌記念號) 五三八號
理想 同七年一月(存在論主題號) 二九號
哲學と心理 同六年十二月 二號

教育問題研究 同十二月(圖書館教育號) 九卷二號
基督教研究 同十二月(ヘーゲル記念號) 五卷十二號
社會學徒 同十二月 二二四號

奈良縣教育 同十二月 六年四號
精神科學 同十二月 二二三號
學校教育 同十二月 十年十二號

願 慧 同十二月 一七號
倫理研究 同十二月 五四二號
信濃教育 同十二月 二卷三號

大谷學報 同十一月(宗教に關する考察) 八卷十二號
生理學研究 同十二月

寄贈圖書

法政大學哲學年誌 一九三二年度 岩波書店刊
哲學會哲學年誌 定價九拾錢